

市制施行70周年を祝い記念式典を開催しました



式辞を述べる小泉市長

地域貢献特別表彰

この10年間で本市の知名度を向上させるなどのイメージアップに大きく貢献した個人・団体を「地域貢献特別表彰」として表彰しました。
(敬称略)

- 十三代目市川團十郎白猿 いちかわだんじゅうろうはくえん
- 成田空港地域映画
「空の港のありがとう」
- 一般財団法人 世界少年野球
推進財団 おう さだはる 王 貞治 はしもと だいき
- 橋本 大輝 はしもと だいき
- 並木 月海 なみき つきみ
- 河合 純一 かわい じゅんいち
- うなりくんとうな友の皆様

記念式典式次第

司会：成田高校・付属中学校放送部

1. 開式のことば
2. 国歌斉唱
3. 市民歌斉唱
4. 市民憲章唱和
5. 市長式辞
6. 市議会議長挨拶
7. 地域貢献特別表彰
8. 来賓祝辞
9. 来賓紹介
10. 祝電披露
11. 成田市御案内人 十三代目市川團十郎白猿 祝賀演舞
12. 地域貢献特別表彰 成田空港地域映画「空の港のありがとう」上映
13. 市制施行70周年記念事業実施報告
14. ドリームセッション〜ゆめトーク〜
15. 閉式のことば

11月2日、市制施行70周年記念式典を国際文化会館で開催しました。式典には、来賓や招待者など約600人が出席し、その模様は市公式YouTubeチャンネルでライブ配信されました。ここでは、式典の様子を紹介します。

市長式辞

成田市長 小泉一成



本日ここに、成田市制施行70周年記念式典を挙行いたしましたところ、公私共にご多忙にもかかわらず、多数のご来賓ならびに市民の皆様にご臨席を賜り、厚く御礼を申し上げます。

成田市は、昭和29年3月31日、成田町、公津村、八生村、中郷村、久住村、豊住村、遠山村の一町六村が合併し、1,080年余りの歴史を誇る成田山新勝寺、義民惣五郎を祭る宗吾霊堂の二大霊場を擁する人口約4万5,000人の県下11番目の市として誕生いたしました。その後、本市にとって一大転機となる現在の成田空港が昭和53年に開港し、国際空港都市として着実に発展を遂げてまいりました。さらには、平成18年3月27日に下総町および大栄町と合併し、現在、人口約13万3,000人を有する、北総の中核都市として、また、空港圏

の中心都市として確固たる地位を確立いたしました。

そして平成26年には、国家戦略特区の指定を、さらには平成28年に北総四都市江戸紀行として日本遺産の認定を受けるなど、将来へ向かって羽ばたく市であると確信しております。

昭和、平成、令和という大きく変貌を遂げた時代の中で、幾多の困難に直面しながらも、これらを克服し、市政が発展してまいりましたのも、それぞれの時代を精一杯生き抜いてこられました市民の皆様方の深い郷土愛とたゆまぬ努力と研さんの賜物であると、心から敬意を表する次第でございます。

地方創生が叫ばれて久しい今日、成田市を取り巻く状況は大きく変化しておりますが、今後もさらなる成長を遂げ、誰もが住みたい、訪れたいと思えるまちにするためには、本市の特性を生かした持続可能な将来を見据えたまちづくりを進める必要があります。

現在進められている成田空港の更なる機能強化により、国際競争力の強化や空港利用者への利便性向上が図られ、人やモノの流れがさらに活発になるとともに、空港周辺地域への新たな企業の進出や雇用の拡大な

どが期待されております。本市といたしましても、成田空港の更なる機能強化を最大の地方創生と捉え、企業立地を積極的に推進するとともに、新たな住宅用地の形成をはじめとした居住環境の整備や広域道路ネットワークの強化などに取り組んでいるところであり、空港が立地していることを最大限に生かした、空港と共に発展するまちづくりを引き続き推進してまいります。

私は、「人を繋ぐ 歴史を繋ぐ 未来へ繋ぐ みんなの成田」をテーマに、この市制施行70周年という記念すべき年を、成田市の輝かしい未来に向けた新たな第一歩として、本市の豊かな自然、伝統や文化、産業などを、独自の地域資源として活用していくことで、我がふるさと成田をこれまで以上に輝かせるとともに、本市の将来都市像である「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まちなりた」の実現に向け、全力で取り組んでいく所存であります。

皆様方におかれましては、今後とも本市の発展のため、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本日、市制施行70周年を記念し、各分野での輝かしいご功績により、本市の知名度向上、イメージアップに多大な貢献をされた方々を表彰させていただきます。皆様方のご功績は私たち成田市民にとりましても大きな財産となるものであり、心から感謝を申し上げます。

また、市内にはさまざまな分野で、市政

の発展、市民福祉の向上のために積極的にご活動いただいている方々が数多くおられます。こうした皆様のご尽力に対しまして、併せて敬意と感謝の意を表する次第であります。

結びに、今日まで市勢伸展のためにご尽力いただきました先輩各位、市民の皆様を重ねて御礼申し上げますとともに、本日ご臨席を賜りました皆様方より一層のご健勝とご多幸、そして成田市の限らない発展と繁栄を心から祈念申し上げます、成田市制施行70周年記念式典の式辞といたします。



出席者全員で市民憲章を唱和

成田市制施行70周年記念式典



式典の振り返り

式典では、市内の中学校・高校に通う生徒たちが司会を務め、市民団体が国歌・市民歌の斉唱を行うなど、多くの市民の皆さんの協力を得て、節目の年をお祝いしました。

成田市御案内人 十三代目市川團十郎白猿 祝賀演舞

平成27年から成田市御案内人として本市の魅力を発信する十三代目市川團十郎白猿文により、祝賀演舞が披露されました。

延命長寿に由来し、長寿や平和を祈る芸能である「延年之舞」により、本市のさらなる飛躍を祈念しました。

成田空港地域映画

「空の港のありがとう」上映

成田空港を舞台にした映画「空の港のありがとう」の上映を行いました。上映前には、本市出身で、同映画の監督・脚本を務めたYuki Saitoさんにインタビューを行い、3年間のコロナ禍で疲弊した成田空港の人手不足の解消など、映画に込めた思いを聞きました。

市制施行70周年記念事業実施報告

70周年記念事業の一つである「JAL×成田市」ボーイング社エバレット工場に行く3泊5日アメリカツアー」に参加した市内在住の高校生36人を代表して、尾崎愛桜さんにより事業報告が行われました。

世界を代表する航空機メーカーであるボー



11 十三代目市川團十郎白猿文による祝賀演舞 2 ホールの入り口で来賓・招待客を迎える 3 記念事業を振り返るパネルなどの展示も 4 5 ツアーの映像とともに市制施行70周年記念事業実施報告を行う 6 地域貢献特別表彰の盾を手にしたYuki Saitoさん 7 8 ゲストが夢をテーマに語る 9 成田高校・付属中学校の生徒が司会を務める

イング社のエバレット工場や、世界最大級の民間航空宇宙博物館であるシアトル航空博物館の視察などを通じて、日本と海外との文化の違いを学ぶとともに、航空業界への興味関心が深まったと報告されました。

ドリームセッション~ゆめトーク~

さまざまな業界で活躍する本市出身者をゲストに招き、「夢」をテーマにトークセッションを行いました。本市出身だから実現できたことや叶えられたこと、そして成田の将来を担う若者に向けたメッセージが語られました。

ゲスト(敬称略)

Yuki Saito (映画監督)

椿隆之(俳優)

内山 栞(作曲家)

toybee 冨塚大地(ミュージシャン)

司会(敬称略)

瀬名亮(映画監督)

YouTubeライブ配信

式典当日は、市公式YouTubeチャンネルでライブ配信を行いました。引き続きアーカイブ動画を公開していきますので、ぜひご覧ください。

また、同チャンネルでは、開会前に式典会場で上映した市制施行70周年記念動画も配信しています。

※くわしくは成田市制施行70周年記念事業実行委員会事務局(企画政策課・☎20・1500)へ。



市制施行70周年記念動画



式典のアーカイブ動画